

令和4年度

第9回／第10回SJAC講演会を開催

(一社)日本航空宇宙工業会(SJAC)は、令和4年12月16日に防衛省より発表された国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画(いわゆる戦略3文書)に関して会員企業に理解を深めて頂くべく、令和5年(2023年)2月1日(水)と同2月2日(木)の二日間にわたり講演会を開催した。

1. 第9回講演会概要

2月1日(水)の第9回講演会は「安保三文書の改訂に係る全体像について」と題し、(一社)日本防衛研究フォーラムさまを講師にお招きしてご講演を頂いた。開催はSJAC会議室での対面とオンラインのハイブリッド形式で行い、会場で16名、オンラインで160名にご聴講を頂いた。

ご講演では、戦略3文書改訂の背景として、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面する日本の現状、それを受けた防衛力の抜本的強化の必要性が述べられた。また、

・「国家安全保障戦略」では、外交・防衛

に加え経済安保、技術、情報等を含む政府としての横断的な対応が述べられていること



(一社)日本防衛研究フォーラム 林理事



第9回講演会 会場全景

- ・「国家防衛戦略」は、我が国防衛の目標とその達成のための方法・手段を示すもので、平時に保持する防衛力の上限を規定する従来の「防衛計画の大綱」とは大きく性格が異なること
- ・「防衛力整備計画」は、5年後、10年後までの防衛力構築に向け、具体的な体制や事業を示していること

等が紹介された。

- ・我が国が主たる責任をもって侵攻事態に対処するという目標を5年後（2027年度）までに達成するために、まず現有装備品の最大限活用が最優先課題
- ・令和5年度予算において装備品の維持整備費、弾薬整備費が大幅に増額
- ・5か年計画の中でも調達リードタイムを考慮し年割の確保に留意
- ・企業の適正な利益確保に留意

等が説明された。

2. 第10回講演会概要

2月2日（木）の第10回講演会は、ホテルグランドヒル市ヶ谷三階瑠璃の間にて対面形式で開催し、110名の聴講者にご来場頂いた。

まず前半は、航空幕僚監部装備計画部装備課長の甲斐隆裕1佐より「戦略3文書を踏まえた『後方予算』の展望」と題してご講演を頂いた。ここでは、3文書の趣旨を改めて紹介されたのち、「7つの柱」のうち特に「持続性・強靭性」に焦点を当て、



航空幕僚監部装備計画部装備課 甲斐課長



第10回講演会 甲斐課長ご講演全景

後半は防衛装備庁技術戦略部技術戦略課長藤井圭介氏より「防衛装備庁における研究開発の取り組み」についてご講演を頂いた。ここでは「防衛力整備計画」に基づく防衛技術基盤強化の取り組みとして

- ・ 研究開発予算の大幅な増額、特にスタンド・オフ防衛能力等、将来の戦い方に直結し得る装備・技術分野への集中的な投資
- ・ 設計・試作から部隊運用・改善・能力向上のサイクルを高速化するアジャイル型



防衛装備庁技術戦略部技術戦略課 藤井課長

研究開発の導入

- ・ 民生先端技術を幅広く取り込む取組み
 - ・ 企業の予見可能性を高める戦略的な情報発信
 - ・ 革新的な装備品の開発に繋がる新たな研究機関の創設
- 等が説明された。

3. おわりに

戦略3文書は公開文書だが、従来の防衛大綱や中期防との相違やその意図、更にこれを受けた自衛隊と装備庁の取り組み等、一般には読み取りにくい部分が具体的に説明され、聴講者の理解を深める機会になったと考える。3つの講演で揃って強調されたのは「『防衛力の抜本的強化』に企業の協力が不可欠」という点で、この切実な訴えに業界も真摯に応えていけるよう、官民の連携を深めていきたい。



第10回講演会 藤井課長ご講演全景

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 技術部 部長 波多野 洋〕